



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 黒田精工株式会社
 コード番号 7726 URL <http://www.kuroda-precision.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 黒田 浩史
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 荻窪 康裕
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 044-555-3800

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,776	18.4	246	349.8	262	—	134	—
29年3月期第2四半期	6,569	△2.7	54	△50.6	6	△96.8	△10	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 464百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △193百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	23.92	—
29年3月期第2四半期	△1.82	—

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益及」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
30年3月期第2四半期	18,675	—	8,464	—	44.4	1,477.66
29年3月期	17,164	—	7,978	—	45.8	1,400.70

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 8,293百万円 29年3月期 7,861百万円

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「1株当たり四半期純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	2.00	2.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。平成29年3月期につきましては、当該株式併合前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,900	19.9	410	261.0	410	142.2	240	142.2	42.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行っております。1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	5,620,000 株	29年3月期	5,620,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	7,737 株	29年3月期	7,518 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	5,612,403 株	29年3月期2Q	5,612,585 株

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行っております。前連結会計年度期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成29年6月29日開催の定時株主総会において、単元株式の変更、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日に単元株式数を1,000株から100株に変更し、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。これに伴い、株式併合前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 1.平成30年3月期の配当予想
 - 1株当たり配当金
 - 期末 2.50円
- 2.平成30年3月期の通期業績予想
 - 1株当たりの当期純利益
 - 通期 8.54円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、海外における不安定な政治動向や地政学的リスクの高まり等の影響が懸念されるものの、雇用環境が改善し、個人消費や設備投資が堅調に推移いたしました。

こうした状況下、当社グループの受注高は、半導体、液晶、ロボット、自動車、家電、工作機械等幅広い分野で高水準の状況が続いており、8,890百万円（前年同期比2,557百万円、40.4%増）となり大幅な増加となりました。売上高は7,776百万円（前年同期比1,207百万円、18.4%増）と受注高の増加には及ばなかったものの増収結果となりました。

利益面に関しては、単体ならびに米国及び中国を中心とした海外子会社の売上が増加したことも寄与し、営業利益は、246百万円（前年同期比191百万円、349.8%増）、経常利益は262百万円（前年同期比256百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益134百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失10百万円）という結果となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

○駆動システム

当セグメントでは、主要市場である半導体・液晶関連分野を中心に高水準な受注が継続し、受注高は4,857百万円（前年同期比2,020百万円、71.2%増）と大幅に増加しました。生産体制増強に努めた結果、受注高の増加には及ばないものの、売上高は3,591百万円（前年同期比721百万円、25.1%増）となり、営業利益は284百万円（前年同期比185百万円、187.1%増）と大幅な増収増益となりました。

○金型システム

当セグメントでは、車載モーター向けに加え、産業用モーター向け等の受注も順調に推移し、受注高は1,893百万円（前年同期比303百万円、19.1%増）、売上高は2,114百万円（前年同期比411百万円、24.2%増）となりました。一方、利益面では、マレーシア子会社の新規取引に関連するコストが先行したこと等の影響により、営業損失27百万円（前年同期は営業損失27百万円）となりました。

○機工・計測システム

当セグメントでは、主力の工作機械の受注が好調に推移し受注高は2,209百万円（前年同期比248百万円、12.7%増）となったものの、英国連結子会社の減収の影響もあり、売上高は2,140百万円（前年同期比89百万円、4.4%増）、営業利益3百万円（前年同期比47百万円、92.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は18,675百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,511百万円増加いたしました。これは、受取手形及び売掛金、現金及び預金等の増加により流動資産が1,298百万円増加し、投資有価証券等の増加により固定資産が213百万円増加したことによるものです。

負債合計額は10,211百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,025百万円増加いたしました。これは、固定負債が119百万円減少したものの、仕入債務、短期借入金、賞与引当金等の増加により流動負債が1,145百万円増加したことによるものです。

また、当第2四半期連結会計期間末の純資産は8,464百万円となり、前連結会計年度末と比較して485百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加により株主資本合計が88百万円増加し、その他有価証券評価差額金等の増加によりその他包括利益累計合計額が343百万円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比較して452百万円増の2,388百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は340百万円（前年同四半期524百万円の増加）となりました。これは主に売上債権の増加により資金が減少した一方、仕入債務の増加等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は136百万円（前年同四半期116百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は238百万円（前年同四半期389百万円の減少）となりました。これは主に長期借入金の調達を実行したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期業績予想につきましては、平成29年11月10日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,967,961	2,417,097
受取手形及び売掛金	2,843,128	3,461,400
電子記録債権	-	37,645
商品及び製品	826,838	750,715
仕掛品	1,375,238	1,577,248
原材料及び貯蔵品	645,590	732,932
その他	379,919	360,638
貸倒引当金	△3,028	△3,971
流動資産合計	8,035,648	9,333,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,288,387	2,271,145
土地	1,846,297	1,869,755
その他(純額)	1,234,132	1,376,477
有形固定資産合計	5,368,817	5,517,378
無形固定資産		
のれん	989,011	1,057,394
その他	296,804	278,276
無形固定資産合計	1,285,816	1,335,670
投資その他の資産		
投資有価証券	1,871,954	2,124,856
その他	603,304	365,030
貸倒引当金	△1,311	△1,311
投資その他の資産合計	2,473,946	2,488,575
固定資産合計	9,128,580	9,341,625
資産合計	17,164,228	18,675,331

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,121,055	1,418,470
電子記録債務	1,475,003	1,759,622
短期借入金	1,219,063	1,590,771
未払法人税等	124,309	132,982
賞与引当金	200,779	275,406
その他	755,521	863,879
流動負債合計	4,895,732	6,041,131
固定負債		
長期借入金	1,627,981	1,735,742
役員退職慰労引当金	156,265	135,950
環境対策引当金	93,872	93,552
退職給付に係る負債	1,466,388	1,479,053
その他	945,032	725,783
固定負債合計	4,289,540	4,170,083
負債合計	9,185,273	10,211,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,875,000	1,875,000
資本剰余金	1,451,395	1,451,395
利益剰余金	2,749,034	2,837,522
自己株式	△8,224	△8,584
株主資本合計	6,067,205	6,155,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	698,629	907,405
土地再評価差額金	821,468	814,401
為替換算調整勘定	199,910	348,881
退職給付に係る調整累計額	74,234	67,032
その他の包括利益累計額合計	1,794,242	2,137,720
非支配株主持分	117,506	171,062
純資産合計	7,978,955	8,464,116
負債純資産合計	17,164,228	18,675,331

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	6,569,050	7,776,568
売上原価	4,960,389	5,795,372
売上総利益	1,608,660	1,981,195
販売費及び一般管理費	1,553,891	1,734,855
営業利益	54,769	246,340
営業外収益		
持分法による投資利益	4,850	22,857
設備賃貸料	33,761	23,180
ロイヤリティ	23,950	23,864
助成金収入	34,735	-
その他	53,042	60,695
営業外収益合計	150,341	130,597
営業外費用		
支払利息	36,073	28,035
為替差損	79,590	14,964
その他	82,665	71,026
営業外費用合計	198,329	114,026
経常利益	6,781	262,911
特別利益		
固定資産売却益	537	1,991
負ののれん発生益	-	48,735
特別利益合計	537	50,727
特別損失		
固定資産除却損	192	1,722
事業構造改善費用	-	5,891
段階取得に係る差損	-	53,764
特別損失合計	192	61,378
税金等調整前四半期純利益	7,126	252,260
法人税、住民税及び事業税	29,559	131,933
法人税等調整額	△13,954	△1,043
法人税等合計	15,605	130,890
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,479	121,370
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,787	△12,879
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,266	134,250

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,479	121,370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,069	208,775
土地再評価差額金	-	△7,067
為替換算調整勘定	△177,130	148,885
退職給付に係る調整額	△106	△7,202
その他の包括利益合計	△185,306	343,391
四半期包括利益	△193,786	464,762
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△190,677	477,728
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,108	△12,965

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,126	252,260
減価償却費	316,578	328,175
のれん償却額	31,793	33,153
負ののれん発生益	-	△48,735
貸倒引当金の増減額(△は減少)	55	203
賞与引当金の増減額(△は減少)	37,989	63,377
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,607	△26,741
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	50,639	△5,829
受取利息及び受取配当金	△21,869	△23,469
支払利息	36,073	28,035
持分法による投資損益(△は益)	△4,850	△22,857
段階取得に係る差損益(△は益)	-	53,764
有形固定資産売却損益(△は益)	△537	△1,991
有形固定資産除却損	192	1,722
売上債権の増減額(△は増加)	△31,284	△569,086
たな卸資産の増減額(△は増加)	32,325	△161,540
仕入債務の増減額(△は減少)	179,780	494,143
その他の流動資産の増減額(△は増加)	12,710	44,874
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△112,805	19,520
その他	448	1,435
小計	543,973	460,415
利息及び配当金の受取額	20,578	25,377
利息の支払額	△36,596	△27,522
法人税等の支払額	△3,879	△117,886
営業活動によるキャッシュ・フロー	524,076	340,384
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100	△4,000
定期預金の払戻による収入	29,777	7,000
投資有価証券の取得による支出	△798	△769
投資有価証券の売却による収入	-	158
有形及び無形固定資産の取得による支出	△151,460	△233,072
有形及び無形固定資産の売却による収入	537	25,152
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	64,785
その他	5,332	3,817
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116,711	△136,927
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	403,272
短期借入金の返済による支出	△300,000	△85,226
長期借入れによる収入	420,000	491,300
長期借入金の返済による支出	△386,208	△413,725
リース債務の返済による支出	△84,813	△90,152
配当金の支払額	△28,065	△56,129
セールアンド割賦バック債務返済による支出	△9,993	△10,114
その他	△25	△312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△389,107	238,912
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32,003	9,766
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,745	452,136
現金及び現金同等物の期首残高	2,276,079	1,936,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,262,333	2,388,649

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額(注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,838,854	1,703,218	2,026,976	6,569,050	-	6,569,050
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31,310	-	23,991	55,302	△55,302	-
計	2,870,165	1,703,218	2,050,968	6,624,352	△55,302	6,569,050
セグメント利益又は損失(△)	98,982	△27,028	51,351	123,304	△68,535	54,769

(注) 1 セグメント利益の調整額△68,535千円は、セグメント間取引消去△50,675千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△17,859千円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額(注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,547,260	2,105,345	2,123,961	7,776,568	-	7,776,568
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44,571	9,432	16,318	70,322	△70,322	-
計	3,591,832	2,114,777	2,140,280	7,846,890	△70,322	7,776,568
セグメント利益又は損失(△)	284,159	△27,873	3,900	260,187	△13,846	246,340

(注) 1 セグメント利益の調整額△13,846千円は、セグメント間取引消去△3,487千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△10,359千円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(株式併合及び単元株式数の変更等について)

当社は、東京証券取引所の上場する企業として、全国証券取引所による「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を尊重し、平成29年6月29日開催の定時株主総会決議に基づき、平成29年10月1日付で当社普通株式の売買単位である単元株式数を1,000株から100株に変更しております。併せて、証券取引所が望ましいとしている投資単位の水準を勘案し、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施するとともに、発行可能株式総数を74,800,000株から14,960,000株に変更しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。